

2020年10月23日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
(コード：9318 東証第2部)
問合せ先 社長室 天神 雄一郎
(TEL. 03-5534-9614)

(訂正)「当社子会社による中古遊技台関連設備の割賦販売に関するお知らせ」の 一部訂正について

2020年10月14日付適時開示資料「当社子会社による中古遊技台関連設備の割賦販売に関するお知らせ」に一部訂正すべき事項がございましたので、下記の通り訂正いたします。

1. 訂正の理由

本件割賦販売に伴う売上高の計上方針について再検討した結果、設備の取得先および割賦販売先が同一であることから、割賦販売金額を総額で計上せず、割賦販売金額と取得金額の差額を計上することが、取引実体をより適切に反映していると判断し、訂正することといたしました。

2. 訂正の内容

訂正箇所は下線を付しております。

【訂正前】

3. 今後の見通し

本件取引に伴う連結売上高は、取引開始から1年間にわたって、割賦販売金額の回収金額に比例して毎月均等に計上されます。その総額は2億4000万円を予定しており、2020年3月期の連結売上高の10%に相当する額以上となる見込みであります。

本件取引が連結営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響につきましては精査中であります。

なお、2021年3月期の通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であることに加え、現在予定している新規事業参入・既存事業拡大の影響を精査中であるため、現時点では未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

【訂正後】

3. 今後の見通し

本件取引に伴う連結売上高は、取引開始から1年間にわたって、割賦販売金額から取得金額を差し引いた純額が、割賦販売金額の回収金額に比例して毎月均等に計上されます。その合計額は2020年3月期の連結売上高の10%に相当する額未満となる見込みであります。また、連結経常利益に係る影響の見込額は精査中ではありますが、利益が少額の場合の開示基準の特例である「2020年3月期の連結売上高の2%の額」の30%の額に相当する額以上となる見込みであります。

なお、2021年3月期の通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であることに加え、現在予定している新規事業参入・既存事業拡大の影響を精査中であるため、現時点では未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

以上